



## 就任のご挨拶

町長 上浦 登

このたびの町長選挙におきまして、多くの町民の皆さまの温かいご支援、ご支持を賜り、豊能町長に初当選させていただきました。3月3日に初登庁しましたが、町長としての職責の重さにあらためて身の引き締まる思いをしております。

私は、ここ豊能町に生まれ、この地で育ち、昭和58年4月に豊能町に奉職いたしました。以来、38年間、総務部次長、保健福祉部長などを経て、令和3年に退職した後、社会福祉法人に勤務してまいりました。

特に、医療、介護、福祉など、豊能町における福祉分野での職務や、退職後の社会福祉法人での経験を通じて、一生涯安心して暮らすことができるまちづくりを行っていききたいとの想いから、私が第一にこの豊能町で進めていくことは、医療、介護、福祉の充実見守り体制を強化することです。行政だけでなく、医療機関や各事業所などとの連携を強化し、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを進めていきます。

少子高齢化は日本全国においても課題となつていますが、豊能町においては、全人口に占める65歳以上の方の割合が48%に達するなど、高齢化が非常に深刻な問題となっております。高齢化に加え、核家族化の進展や単身世帯の

増加などによる社会構造の変化も相まって、孤独・孤立が社会問題となっております。誰一人取り残さない、させない対策の取り組みを促進します。豊能町の財政状況は、ここ数年、主たる収入である町税収入の減少傾向が続く、町の貯金である基金を取り崩して財政運営を維持しているというのが実状で、大変厳しい状況です。

私は、豊能町職員および民間職員としての経験を活かし、地方自治の本旨であります「最少の経費で最大の効果を挙げる」ことを常に意識し、事務事業の選択と集中を中心に据えた行財政運営を行うとともに、公民連携やスマートシティなどの手法を活用し、行財政改革を進めていきます。

併せて、令和8年度に予定されている義務教育学校の整備と、公共施設の再編、集約化によりコンパクトなまちづくりを進めるとともに、既存の公有財産を最大限活用することにより、町の活性化を図ります。

子どもたちは、次世代の豊能町を担う大きな宝です。子どもたちの成長を応援する環境の整備を図るため、保育環境を充実し、子育てしやすいまちづくりを進めていきます。

また、地域との連携を深め教育力の向上と郷土愛の醸成を目指すとともに、放課後を活用した教室を開設するなど、

学力の定着・向上を図ります。

持続可能なまちづくりのためには、産業の育成が不可欠です。企業誘致を進め、雇用創出と町の活性化に取り組みていきます。また、農業については、生産力と販売力の向上を図るため、就農者を育成し、農産物の販路を拡充します。

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、本町の公共交通利用者は減少傾向にあります。しかし、自家用車による移動がでなくなる方の増加に伴い、公共交通の重要性は今後ますます高まってまいります。能勢電鉄・阪急バスなど公共交通機関の利便性の向上に努めます。

長年の懸案事項であるダイオキシン類を含む廃棄物の最終処分については、町民の皆さまと十分に対話を重ね、一日も早い解決に向けて全力で取り組んでまいります。

私は、町民の皆さまとの信頼関係のもとに、これらの実現を目指し、未来ある次世代にこの豊能町を引き継いでまいりたいと思っておりますので、皆さまのさらなるご支援、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民の皆さまをはじめ、関係各位のご健勝とご多幸、ご発展を心よりご祈念申し上げ、就任のご挨拶とします。

## 退任のご挨拶

前町長 塩川 恒敏



このたび私は、3月2日の任期満了をもちまして、豊能町長を退任いたしました。

平成31年に、皆さまの信任を受けて町長に就任して以来、重責を担うことができましたのは、ひとえに豊能町を愛する多くの方々の温かい励ましと、力強いお支えがあったからこそであり、ただただ、感謝の言葉しかありません。お陰をもちまして、豊能町が抱える多くの課題解決に全力で取り組むことができたことに、心からお礼を申し上げます。

しかしながら、改革はまさに始まったばかりでございますが、私の健康上の理由により「道半ば」で退任することになり大変申し訳ございません。

豊能町の社会課題（人口減少・少子高齢化、財源不足等）は、人口急増から減少に転じた平成7年から始まっており、以降、時代とともに大きく変容してきました。

私は、「**選ばれるまち**」とよみの「**2**」となるため、政策をつなぎ、発展させてきました。

将来を担う子どもたちの教育環境の充実（義務教育学校＋公私連携型認定こども園）で、「選ばれる教育環境の充実」を第一に、「子育てしやすいまちづくり」を推し進めるとともに、豊能町を支える人材力の強化に向け、若

者・子育て世代が活躍できる環境を整えてまいりました。

そして、皆さまの生活の質（QOL）を図り、暮らしへの満足度が高い「**選ばれる自治体**」とよみであるためには、これまでとは異なる町政改革が必要でありました。

限られた財源、限られた人材の中では、新たな行政サービスの付加価値向上を図るには、更なる業務改善が求められました。そのため、デジタル技術の活用と公民連携による「豊能町スマートシティプロジェクト」の積極推進を行い、「誰一人取り残さないまちづくり」を図つてまいりました。

皆さまの「不便」「不利」「不満」の解消による利便性の向上は、民間企業・研究機関との連携により、新たなアイデアを生み出すことよって得られるものであり、結果として、まち全体に活力にぎわい創出の一步が進められたと思つております。

このように、豊能町のまちづくりを担えたことは、誠に光栄であり、私を力強く支えていただきました町民の皆さまに心から感謝申し上げます。

引き続き、町民の皆さまと関係者の皆さまが創り出す未来の豊能町において、「**子育てしやすいまち**」とよみ「**高齢者にやさしいまち**」とよみ「**スマートシティの創造**」に向けた取

り組みが一層推進されることを願っています。

おわりに、皆さまの幸せな暮らしと、豊能町の限らない発展をご祈念申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。

